

麻酔の使用目的

内視鏡は本来「とても苦しい検査」です。麻酔は、その苦痛を軽減し、安全にかつ精密な検査を行うために麻酔を使用します。

麻酔の効果には個人差があり、麻酔をしても、時には「苦しかった。」「意識があった。」ということがあります。麻酔は苦痛を軽減することが主目的であり、意識をなくすことそのものを目的としておりません。

使用する麻酔薬

主な薬剤は、① ミダゾラム、② ペチジン（フェンタニル）、③プロポフォールです。それぞれの適宜特徴を考慮し個別に薬剤を選択しております。

① ミダゾラムには、苦痛緩和を目的とする鎮静作用があります。鎮静作用が強い時は、意識がなくなります。薬の効果を打ち消す拮抗薬（アネキセート）があります。

抗不安薬や睡眠薬（デパスやレンドルミン等）を普段から使用されている方は、麻酔の効果が弱いことがあります。

② ペチジン（フェンタニル）は、鎮痛作用と鎮静作用がある麻薬性鎮痛薬です。鎮静作用が強い時は、意識がなくなります。薬の効果を打ち消す拮抗薬（ナロキソン）があります。

③ プロポフォールは、速やかに鎮静作用が発現し、覚醒も速やかです。拮抗薬がないため、効果が効き過ぎてしまった時、呼吸管理が必要なこともあります。速やかに回復するのが特徴です。

麻酔の副作用

副作用には、アレルギー反応（アナフィラキシーショック：呼吸抑制、吐気、蕁麻疹、血圧低下）、眠気、脱抑制、頭痛があります。状況により処置を有し、また、麻酔から目覚めるまで時間がかかります。検査中体動が強い時、ベッド転落等危険を防止するために、身体を抑えることがあります。

以上、麻酔の使用目的と使用する麻酔薬の効果、麻酔の副作用等を理解したうえで、麻酔の使用に同意します。

年 月 日 ご署名 _____

代諾者 _____ 続柄 _____

とよしま内視鏡クリニック

住所：東京都世田谷区成城 6-17-5

電話：03(5429)9555